



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2014推進ニュース

「社会保障の解体は許さない! 介護保障制度の抜本改善を!!」

- 今年も介護の "Big Wave" をおこそう! -

介護保険改悪法案、閣議決定!

2月12日、政府は、介護保険法の「改正」法案をふくむ「**地域医療・介護総合確保推進法案(略称)**」を閣議決定しました。

この法案は、介護保険法の「改正」法案だけではなく、病床の機能分化を盛り込んだ医療法の「改正」案、医師が行う医療行為の一部(特定行為)を看護師でも実施可能とするための保助看法「改正」など、10本を超える法律の「改正」を一括して成立させようというものです。

医療・介護という国民生活に大きく影響する制度の見直しを「抱き合わせ」で上程することで、介護保険をはじめとする**制度改悪に対する批判封じ**をはかると同時に、予算関連法案と抱き合わせることによって、介護保険法「改正」案など2014年度の予算とは直接関係のない法案を予算編成に合わせた日程で**早期に成立**させるようとしていることは重大です。現在、4月中旬までに成立させるとも報じられており、まともな審議を保障しない、乱暴きわまりない手法と言わざるを得ません。

また、医療法、介護保険法の「改正」は、昨年の国会で成立したプログラム法に基づき、「入院から在宅へ」「医療から介護へ」の基調に沿って2025年に向けて政府が推進しようとしている「低コスト・効率的な」医療・介護・福祉提供体制づくりを具体的に進めるものです。

要支援者の訪問介護・デイサービスの切り捨てをはじめとする介護保険改悪、新たな「一括法案」・法案の一括処理の撤回を求める介護ウェーブを大いに広げていきましょう。

国会行動を2月19日と3月12日の日程で計画しています。3月の国会行動では「介護保険改悪STOP請願署名」を提出します。多くの職員のみなさんの参加と、20万筆の請願署名の提出をめざし、各地でのとり組みの強化をはかりましょう。

現在までの署名数は **133436 筆**です

各地の介護ウェーブ 引き続き...

北海道

北海道では、2項目の共同アピールの取り組みを11月から行い、2月1日現在で、735団体(うち民医連外の事業所は546)から賛同を受けました。また同時に、市町村への介護保険改悪反対の意見書提出の取り組みも行っており、政府への意見書を採択した市町村議会は50市町村になりました。共同アピールは、2月から国会議員や各団体・関係者へ送り、さらに大きな輪を広げる予定です。



「**要支援者への介護予防給付を継続すること**」

「**特別養護老人ホームへの入居を要介護3以上に限定せず従来通りとすること**」

を求める共同アピール

2014年2月1日

政府は、要支援者を介護保険サービスから外し、市町村へ丸投げする方向を打ち出しました。要支援者は、廃用症候群や引きこもり等、心身の機能低下を防ぎ、生活を支えるために適切な介護を必要としている人々であり、独居や老老世帯で頑張っている方が多くいます。この人たちから介護サービスを奪うことは、生活を奪うことを意味します。さらに、おおよそ4分の1の利用者が介護保険のサービスから外され、報酬が下がることになれば、多くの介護事業所の経営は大変困難になるでしょう。その結果、職員の非正規化や賃金ダウンなどが余儀なくされることになり、国が進める処遇改善にも逆行し、ただでさえ足りない介護職員の離職が進むこともおおいに危惧されます。丸投げされる市町村には「受け皿」となるNPOやボランティア組織が備わっているわけではなく、市町村格差が生じることが懸念されます。

また、政府は特別養護老人ホームの入居を要介護3以上の高齢者に制限することを打ち出しました。しかし、要介護1・2であっても、介護者がいないなど「終の棲家」として特養への入居が必要な方が少なからず存在することはこれまで明らかになっています。今後も特養入居については、利用者家族の選択を尊重し、入所判定は事業者の主体性に任せるべきと考えます。以上の趣旨から、私たちは訴えます。

- 1、要支援者に対する介護予防給付を継続すること。
- 2、特別養護老人ホームへの入居を要介護3以上に限定せず従来通りとすること。

埼玉 署名数は、1万筆を 超えました！

「医科も介護も地域も一緒♪」と病棟や歯科にも声かけを行い、取り組んでいます。地域ごとに分担して、埼玉県内の主要各駅での宣伝行動も行いました。

「誰かがやってくれる。自分が出なくても…ではなく、1人1人の力は小さくても、皆で行えば大きな風も波も起こせます。埼玉民医連が丸となり、全国と共同して大きなウェーブを起こしましょう。きっと何かが変わります」と、県内事業所へバトンを渡しなが、取り組んでいます。

署名集約のお願い！！
一年に一回のチャンスを活かそう！！

お忘れではないですか？
私たちはわすれていません！！

通常国会が1月24日（金）に召集される予定です。
通常国会は、次年度の国の総予算や予算を実行するのに必要な法律案を審議する重要な役目をもつものです。
是非介護署名を集約して、介護事業支援課の上村までご提出ください。

あと、ちょっと！ 目指せ！一萬筆！！

介護ウェーブ署名到達状況

(埼玉の extend ~ 上げよう ~ 介護Wave News より)

長野

社会福祉法人ゆいの里では、地域を巻き込んだ介護ウェーブが進んでいます。近隣の事業所、家族会、取引業者など、声をかけられるところはどこでも声をかけています。

地域の公民館を会場に学習会を昼と夜の2回開催。地域の事業所と一緒に学習会を企画・開催もしています。また、職員50名で、93の介護関連施設へ署名のお願いに行く計画もたてました。

学習会に参加された方が近所のクリーニング店やパチンコ店や交番へ署名の訴えにまわってくれました。

介護ウェーブの様子も1週間に2回のニュースでお知らせして取り組みをお知らせしています。

＜地域学習会の日程が決まる＞

12月	1:30~3:00【昼】		会場
6日	下村公会堂	福生 伊藤 富達・栗	下村
13日	三穂公民館	三穂公民館	三穂
16日	竜丘公民館	竜丘公民館	竜丘
18日	龍江公民館	龍江公民館	龍江
19日	川路公民館	川路公民館	川路

ゆいの里
介護ウェーブニュース No.8
2013.12.18
発行責任者: 池田克文

現在までの署名 1483 筆！

＜各事業所別署名到達数＞

事業所	本日分	累計	事業所等	本日分	累計
ゆい・居宅	74	366	七和の里	0	20
ハートビル	0	76	ゆいの会	54	717
かわじデイ	0	65	地域学習会	0	82
およりて	0	46	田中の家	0	30
田中の家	0	30	その他	32	47
配食わい	0	34	合計	160	1483

竜丘学習会に参加した御婦人、いても立ってももらえないと……

パチンコ店でも店員に署名の訴え！
16日の竜丘学習会に参加した婦人は、学習会で改訂案の話を聞き「これは大変だ」とよく行くクリーニング店の店主（68才）に署名をお願いしたところ「実はこの事が氣になっていた」という事で、学習会の資料をコピーして渡したそうです。

香川

【香川民医連より】

介護福祉委員会では、11月16日（土）に、今年度2回目となる介護事業所学習交流会を開催、法人内各介護事業所より23人の参加がありました。

山本副部長（介護福祉部）による「民医連の介護福祉の理念」「介護保険改定2015年」の講演で熱い想いを抱き、田町商店街へ「介護保険制度の改悪中止を求める」街頭署名活動に出かけました。

出発時のオノマトペ（擬音ではなかったけれど）による団結心が功を奏したのかおよそ30分の短い時間に120筆集めることができました。若い世代も含め多くの方が「介護問題は人事ではない」と急ぐ足を止め、話を聞いて下さったことに感謝しながら、もっと私達自身が介護の現場からの声を今日のリレートークに終わらさず国へ届けていかなければならないと感じました。

これからも「この国に生まれて本当に良かった！」（辛坊治郎さんがヨット遭難事故から救出された時の言葉）と誰もが思えるようにこの日の熱い想いを介護ウェーブで引き継いでいきましょう。

